

聖書日課『からし種』 2025.7.27～8.3

7月27日 (日) ガラテヤ 3章	「もはや、ユダヤ人もギリシア人もなく…男も女もありませ ん。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからで す」(28節)。この聖句を礼拝堂正面に掲げたアトランタのパ プテスト教会は、「女性は教会で教えるな」という方針を出した 南部バプテストを脱退して「主が招かれる誰もが集える教会」 をビジョンとした。パウロの闘いは今の私たちの闘いでもある。
28日 (月) ガラテヤ 4章	「しかし、今は神を知っている。いや、むしろ神から知られて いる」(9節)。パウロは「神に知られている」という表現で、私 たちが信じる前から私たちを「ご自分の子」として愛し、知って おられる神を語る。なんとうれしいことだろうか。だからパウロ は確かな希望を語ることができた。「(神に)はつきり知られて いるように、(私たちも神を)知るようになる」(Ⅰコリ13:12)と。
29日 (火) ガラテヤ 5章	「霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠 実、柔和、節制です」(22～23節)、「わたしたちは、霊の導 きに従って生きているなら、霊の導きに従ってまた前進しまし よう」(25節)。霊の導きなしに私たちは誰かを愛せないし、喜 びや平和をもたらすこともできない。霊の導きとは十字架にお ける罪の砕きと愛の注ぎ。砕かれ、受けて、歩んでいこう。
30日 (水) ガラテヤ 6章	「実際には何者でもないのに、自分をひとかどの者だと思う人 がいるなら、その人は自分自身を欺いています」(3節)、「思い 違いをしてはいけません」(7節)。私たちは「自分をほめたい 誘惑」を常に抱えている。その時に「神にすべて知られている」 ことを思い起こしたい。わたしの弱さをすべてご存じの上で愛し てくださっている方の前で「思い違い」をしないように。

メール配信登録メール senforn.obc@gmail.com

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2025.7.27～8.3

31日 (木) エフェソ 1章	「栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、心の目を開いてくださるように」(17－18節)。私たちは神の御業を目前に示されても、そこに神の語りかけを聴き取っていく素直さをなかなか持ちえない。新しい一日、喜びの中にも悲しみの中にもインマヌエルの主の恵みの足跡を見出すことができますように。
8月1日 (金) エフェソ 2章	「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です」(8節)。8節の「事実」という言葉は、原文では実は10節の「わたしたちは神の作品」という言葉の前にも置かれている。私たち一人一人は「神の救いを映し出す神の作品」として創られた。この「事実」を、大切に受け取って歩みたい。
2日 (土) エフェソ 3章	「どうか、御父が…信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように」(16－17節)。日々葛藤し、悩み、同じ場所をグルグル回っているような私たちの心の内にキリストが住んでくださっている。私たちが「主よ」と呼びかけはじめた日から、愛に根ざす者としての成長を祈り願って。
3日 (日) エフェソ 4章	「わたしたちは皆、神の子に対する信仰と知識において一つのものとなり、成熟した人間になり、キリストの満ちあふれる豊かさになるまで成長するのです」(13節)。なんと希望に満ちた言葉だろうか。わたしたちが、キリストの愛に根ざして成長し、一人ひとり部分は応じて働きキリストの体を形成していく。心に留めておきたい。